

千葉県社保協通信

2021年度一No2 2021年 6月 26日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

天海訴訟

東京高裁での勝利めざして 支援の輪を大きく広げよう

6月27日(日)午後、千葉市内にて「天海訴訟を支援する会」主催による「判決報告～学習交流会総決起集会」が開かれ、県内・全国からオンラインを含め100人を超える参加がありました。

集会では、日本障害者センター理事・事務局次長の山崎光弘さんが「天海訴訟を改めて学び、考える」と題して、千葉地裁の判決のポイントと課題について講演しました。

～日本の社会保障制度の在り方問う問題～

山崎氏は、2014年7月、65才となった天海さんが、要介護認定の申請(介護保険制度への移行)を拒否したことを理由に「障害福祉サービスの更新を打ち切ったことはおかしい」と、2015年11月、天海正克さんが千葉市を提訴した経緯と背景を説明。千葉市の行為は自治体の責任を放棄するもの。社会保障の財源を「自助」と「共助」に求める「全世代型社会保障」が謳われ「生活保護者の国保・後期高齢者医療制度への加入」「こども保険



弁護団を代表して、向後剛弁護士が報告。
千葉地裁判決の不当性を明らかにしました。

の創設も提起されている。これらは「社会保障制度の公的責任を後退させ、社会保険制度の徹底をねらうもの」であり、「天海訴訟は、日本の社会保障制度の在り方を問う問題」と指摘しました。

～公正な判決求め団体・個人署名を広げよう～

原告の天海さんは「逆転勝訴めざして頑張る」決意を表明。「支援する会」の瀬瀬建史さんが「千葉地裁判決は、憲法や法律を無視した不当判決であり、東京高裁での公正な判決を求める署名を大きく広げよう」と呼びかけました。 一署名用紙は別添一

※署名の締め切りは7月末です。

●子ども医療費 薬局窓口負担無料を求める

議会請願で意見陳述 **千葉県社保協**

千葉市は、昨年年8月から子ども医療費受給券を提示して処方される調剤について、これまで自己負担額無料としていたものを、窓口で自己負担を新たに求める施策へ改悪しました。具体的には0歳から小学校3年生までは院外処方1回につき300円、小学校4年生から中学校3年生までは500円の負担となります。コロナ禍での医療費負担増は、更なる受診控えにつながる可能性が懸念されます。

千葉県社保協は、今年度第2回定例議会に、「子ども医療費院外処方の窓口負担無料を求める」請願を1,242筆の署名を添えて提出しました。

6月14日に行われた教育未来委員会で、新日本婦人の会の藤川真由子さんが意見陳述し、採択を求めました。「1回の診察と薬の処方までのおよ

そ2倍の負担となること」や「非課税世帯ではないが低所得の家庭、子どもが多い家庭、コロナ禍で収入が減った家庭にとってはさらに負担が重い」など署名・宣伝活動やおしゃべり会などで集めた声を届けました。「他の子育て支援の施策に充てるといいますが、どうしてその財源を病気で苦しむ家庭からの負担で賄おうとするのか」「行政の役割は、そのような家庭を支えることなのではないか」と指摘。

さらに、「議員の『自分が子育てした時代は助成制度すらなかったが何とかやってきた』などの意見には愕然とする」「当事者の声を聞き、制度づくりに活かすべき」「新制度が始まった今でも再検討すべき」などと訴えました。

請願は不採択でしたが、さらに運動を広げ、議会請願や担当課との懇談で無料化を求めます。

